

電 力 情 報

NO. 81

平成22年12月27日

東 北 電 力 (株)

1 1 月分の電力需給実績について

1. 電力需要について（表 - 1 参照）

11月分の販売電力量は、64億6,700万kWh、対前年比103.5%の実績となりました。用途別の実績は、以下のとおりです。

○ 特定規模需要以外の需要（自由化対象以外のお客さま）

電灯は、オール電化住宅の普及による時間帯別電灯の堅調な増加などから、対前年比102.4%と前年を上回る実績となりました。

特定規模需要以外の需要の合計では、対前年比101.8%の実績となりました。

○ 特定規模需要（自由化対象のお客さま）

業務用電力は、対前年比101.2%と前年を上回る実績となりました。

特定規模需要の合計では、対前年比104.4%の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

[参 考]

○ 大口電力

大口電力は、生産回復の動きに加え、平成21年11月分が大きく前年実績を下回った反動などから、対前年比106.9%の実績となり、12カ月連続で前年実績を上回りました。

2．供給力について（表 - 2 参照）

11月の発受電電力量の合計は73億1,300万kWh、対前年比103.4%の実績となりました。

（自社水力）

降水量が多かったことから、出水率108.3%の豊水となりました。

発電量は、前年を7,200万kWh上回る6億1,900万kWhとなりました。

（自社火力）

需要の増加などにより、発電量は前年を2億7,000万kWh上回る37億9,700万kWhとなりました。

（自社原子力）

前年との運転状況の違いにより、発電量は前年を2億8,600万kWh上回る18億8,300万kWhとなりました。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の前年との運転状況の違いにより、発電量は前年を1,900万kWh下回る5,000万kWhとなりました。

（他社受電）

他社発電所の前年との運転状況の違いなどから、他社受電合計では前年を3,900万kWh上回る16億7,200万kWhとなりました。

電気関係報告規則等の一部を改正する省令（平成22年3月31日 経済産業省令第20号）により、発電量等に関する国への報告様式が変更になり、新エネルギー等（風力、太陽光および地熱）の発電量は別掲することとなりました。これにあわせ、当社の報道発表資料につきましても、地熱発電の発電量を「自社新エネルギー等」として別記しております。

以 上